

事業所名

放課後等デイサービス ゆづき

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和

6年

10月

22日

法人（事業所）理念		共に学び、共に成長していくために											
支援方針		個別療育・集団療育・社会参加・家族支援の4つの柱を軸に30分の机上課題と30分のプレイルームでの療育と外出訓練を行います											
営業時間		児童発達支援 放課後等デイサービス 学校休業日	12 15 9	時	0 50	分から	16 18 16	時	0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	来所後、体調確認し検温、手洗い等の衛生管理の徹底。体調に変化があれば保護者に連絡を行う。始まりと終わりの挨拶の実施により、活動にメリハリをつける。											
	運動・感覚	児童発達支援：サーキット遊びを通して、粗大運動・微細運動等で色々な身体の使い方を身につける。くすぐり遊びで感覚刺激を入れていく。 放課後等デイサービス：小集団でのプレイルームでの活動を通して、身体も心も発散する											
	認知・行動	児童発達支援：活動のルーティンやGO-STOPなどの動きを取り入れ、動きを制限していく。座っての活動が出来るようになる 放課後等デイサービス：チームプレーや勝ち負けのある遊びを通じて、気持ちのコントロールを身につける											
	言語 コミュニケーション	児童発達支援：指導員との言葉やジェスチャーでのやり取りを楽しむ。音楽遊び等で模倣など行う。 放課後等デイサービス：自分の気持ちの表出の仕方や、相手の話の聴き方などが出来るようになる。チームプレーを行うことで、応援することや協調性を養う。											
	人間関係 社会性	児童発達支援：まずは指導員との信頼関係を築く。 放課後等デイサービス：外出訓練を通して他学年との交流を行い、円滑なコミュニケーションが図れるようにする。公共の場に出る事での社会でのマナーやルールを学ぶ機会を設ける											
家族支援		定期的に面談を行い、本人の現状を共有する				移行支援		学校や医療機関との連携会議を開催し、情報共有に努める					
地域支援・地域連携		地域参加を促し、外部との関わりを増やしていく（習い事など）				職員の質の向上		事業所内職員研修・外部研修を行う。個別支援ケース会議・朝礼の実施					
主な行事等		親子レクリエーション・クリスマス会・外出訓練（毎週土曜日）											